

J-Trial冬 第2弾 Welcome to Movie English



講師はEmily先生です。

学校にいたら、Wade先生やDurner先生、Emily先生の発音が聴けるし、英語を話すこともできます。しかし、学校を離れるとネイティブの発音に触れることが少なくなります。ですが、映画を観れば、英語を聞き、楽しい・わくわく・ドキドキするようなストーリーに身をゆだねることができるのです。

逆に、Emily先生は日本のアニメを見て日本語を勉強されたそうです。

今日は、4つの映画を使って英語学習を行いました。



タスクNo.1

『魔法の力を持った家のお話』

魔法の儀式に向かう登場人物たちのセリフ（英語字幕）を見て、日本語にする。

タスクNo.2

『多種類の元素たちが生きる社会のお話』

劇中歌の一部を聞いて、英語を書きとる。リスニングトレーニングです。

タスクNo.3

『魔法修業中の兄弟のお話』

未熟な弟がかけた魔法で意外なことが起こります。

映画の1場面を見て、次のシーンで起こることを予測し、発表する。物を大きくするは

ずが、誰かを小さくしてしまうのです。

タスクNo.4

『日本人の姉妹が、森の中の奇妙な生き物と友達になるお話』

日本語のセリフを英語に訳し、画面を見ながら、英語で演じる。役になりきるのは楽しい。



参加者の感想

○映画を通して学べて楽しかったです。見慣れた映画からもあんな学び方があるんだと感心しました。映画、これから見る目が変わるかも。
○エミリーの授業は楽しかった。英語の曲を聞き取れて良かった。英語の曲を聴くのが得意なので簡単でした。

「中学生の税についての作文」 本校生が八王子市長賞受賞



全国から寄せられた445,945編の作文の中から、本校3年廣澤佳奈さんが八王子市長賞をいただきました。

廣澤さんは防災意識が高く、消防署に出向いて、消防官の方々からお話を聞いたりしています。内容を紹介します。

「命を救う現場で活躍する消防官、警察官、自衛官、海上保安官の給料や装備品に税金が使われています。この方々の活躍ぶりを見て、税金の無駄遣いという人はいないでしょう。」

加えて、税金で買われた資機材についても、ただの機材ではなく、一緒に戦う仲間だと考え、傷ひとつつけずに大切に扱っているのです。私たちの支払った税金がこのように使われていると思うとうれしくなってきました。」

このように廣澤さんは税金の意味を考え直してくれました。



11月24日(金)に八王子オクトーレで表彰式が行われ、作品は拡大印刷され、八王子市役所本庁舎ロビーで展示されています。

来年1/6, 1/13, 2/3, 2/10にTokyo Star Radio(八王子FM77.5MHz)で土曜日 10:00am からの「広報はちおうじ」の時間に、本人の作文朗読が放送される予定です。

